

2020-21 年度 第 2790 地区

ガバナー 漆原 節子（勝浦 RC） 第 5 グループガバナー補佐 窪田 謙 （富津シティ RC）
富津シティ RC 会長 渡邊 敏 幹事 宮崎 晴幸 SAA 伊藤 充教

通算 1376 例会 2021 年 6 月 2 日（水）

【点鐘】渡邊会長

【ロータリーソング】ソングリーダー：立石 会員

ロータリーソング・君が代、奉仕の理想

【会長挨拶】渡邊会長

本日の例会は次年度活動計画書作成に向けての最終日となります。

計画実践に向けての役割を明確にして

次年度宮崎和田年度へのサポートをお願いいたします。

本日の例会卓話は栗坂会員による自社 日本製鉄(株)技術開発本部先端技術研究所 環境基盤研究所 小杉知佳様 吉村航様に「富津海苔養殖不作問題への対応」についての卓話を頂きます。小杉さんにおかれましては、我クラブに 10 年前にお越し頂き卓話を頂いた経緯があります。その際に、北海道の昆布と鉄の関係に携わった経緯、そして海苔の研究を始める主旨の説明を頂いた記憶があります。

小杉様吉村様宜しく願いいたします。



【幹事報告】宮崎幹事

6月ロータリーレート 109円ドル/円

月間テーマ 親睦月間

【結婚・誕生】



誕生：宮崎幹事 5/26



誕生：遠藤会員 5/15

【委員会報告】

各委員会の活動方針・計画は貼付の通りです。

ロータリー財団委員会

委員長 阿部 信一

活動方針

ロータリー財団の使命である「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」、および標語である「世界でよいことをしよう」を再認識して、奉仕活動の充実を図っていきます。

ロータリー財団として地域社会への奉仕をさらに強化増大していくために、年次寄付金等のお願いをするとともに、寄付金を資金とする地域活動を実施します。

活動計画

1. ロータリー財団関連セミナー等に参加し、ロータリー財団に関する会員の理解度向上を図る。
2. 年次基金として、会員一人あたり「150USD」の寄付をする。
3. ポリオプラス基金として、会員一人あたり「30USD」の寄付をする。
4. 地区補助金、グローバル補助金を活用した奉仕活動の検討を行う。

IT広報・公共イメージ委員会

委員長 江藤 康子
委員 窪田 謙
委員 河村 昌吾
委員 渡邊 敏

活動方針

会員に対しMy Rotaryやロータリーの友・週報等を活用した情報提供を行い当クラブの奉仕活動に対する更なる知識と理解の向上を図れるよう活動する。

対外的には、各委員会と連携し当クラブの活動状況等をホームページに掲載し、当クラブの周知向上を図る。

活動計画

1. 例会報告、卓話内容についての原稿を依頼し週報に掲載する。
2. 会員へMy Rotaryの登録を推進する。
3. ホームページを通じ各委員会等の活動状況を適宜公開する。
4. ホームページ内の会員専用ページの各種案内文章や活動における資料を記録する。
5. ロータリーの友の内容を要約し会員へロータリーに対する理解向上を図る。また各委員会活動を掲載できる場合は各委員会と相談し掲載できるよう協力する。
6. 地元のメディア等を活用し活動をアピールできるよう推進する。

クラブ管理運営委員会

委員長 伊藤 充教
プログラム担当 河村 昌吾
親睦担当 栗坂 禎一
出席担当 立石 泰之

活動方針

クラブ管理運営委員会は、各委員会と連携を図りながら、あらゆる委員会活動が目標と行動計画に基づいて、より効果的に運営できるよう調整・支援します。これら委員会活動が、会員相互の親睦を深め、会員にとって充実した体験づくりとなるよう、クラブの活性化を推進していきます。

活動計画

1. クラブと地域社会の両者に恩恵がもたらされるような奉仕活動を推進し、クラブのイメージと認知度の向上を図ります。とりわけ、次世代を担う子供達へ、地域貢献や職業奉仕の素晴らしさを発信できる活動を展開することで、地域に根付いた密着型クラブを目指します。
2. 引き続き、新型コロナウイルス感染症予防策に努めながら、秩序正しい例会と興味深い親睦行事が開催できるよう創意工夫を凝らし、会員の出席率向上を図ります。
3. クラブの現状を正しく評価し、柔軟な運営を図ることで、既存会員の満足度向上に最大限努めながら、新入会員の獲得機会を図ります。
4. 友好クラブである川崎マリンロータリークラブとの交流事業を継続し、両クラブの会員同志の親睦を深めることができるよう図ります。

以上

会員増強・拡大委員会

委員長 栗坂 禎一
委員 秋山 和彦
委員 窪田 謙
委員 立石 泰之

1. 活動方針

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員の増強・拡大に欠かれないコミュニケーションを取りづらいつながりが継続しているが、会員一人ひとりが、近隣の企業・事業主や地域の方々にロータリークラブの理念や活動の素晴らしさを伝え、1人でも多くの会員の拡大につなげていく。

2. 活動計画

- (1) これまで候補となった方、新たに候補として考えられる方(ex.現会員にいない職業分類の方など)を改めてピックアップする。
- (2) 候補者を入会につなげる具体的な方法・アイデアについて例会で定期的に議論し、その内容に沿って実行する。
- (3) 過去において新規入会に有効であった企業見学・訪問などの活動を再開する(但し、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めたうえで対応とする)。
- (4) 夜間例会での懇親やクラブ管理運営委員会親睦担当との連携などにより、退会者の防止にも努める。

3. 会員選考

推薦された会員の候補者について、人格、職業、社会的世評等に基づき、ロータリアンとして適格であると判断した候補者を理事会に付議する。

ロータリー米山記念奨学会

担当 阿部 信一

活動方針

米山記念奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

富津シティロータリークラブとして、外国人留学生を直接支援することは困難なので、特別寄付金の増進や第2790地区および近隣のロータリークラブと協同で事業活動を支援します。

活動計画

1. 地区主催の米山関連行事等に参加して米山記念奨学事業について習得し、事業に関する会員の理解度向上を図る。
2. クラブの月間行事として米山記念奨学会関係プログラムを実施する。
3. 特別寄付金として、会員一人あたり「15,000円」の寄付をする。
4. 第2790地区米山学友会の活動を支援する。

【例会プログラム/卓話】：日本製鉄株式会社 技術開発本部 環境基盤研究部 小杉課長 吉村主任研究員

卓話テーマ

「富津海苔養殖不作問題への対応」

吉村氏より、上記テーマで、富津海苔養殖における日本製鉄の取り組みについて紹介があった。

発表内容の概要は以下の通り。

- ・近年、富津の海苔養殖は深刻な不作により危機的な状況にある。
- ・日本製鉄（株）技術開発本部では、新富津漁業協同組合からの要請を受け、2018年から千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所（東漁研）と連携し、不作原因の調査を開始。主に水質調査を担当し、2018年度から2020年度の3年間、富津沖の漁場の水質を全漁期に渡り、週一回の高頻度で分析した。
- ・調査の結果、富津沖では窒素が比較的豊富であるのに対し、リンが特に春先に不足傾向にあることなどの傾向が明らかになった。但し、これらの傾向は従来と大きく変わらず、近年の不作と水質との関連は低いと考えられた。一方、東漁研自らは食害に焦点を当てた調査を行い、クロダイの食害が近年の不作の主原因である可能性が高いことが明らかになりつつある。
- ・日本製鉄の水質調査によって不作の原因が解明されたわけではないが、東漁研の調査を補完する意味でも水質調査重要である。また、速報として提出した水質データは、漁の判断に役立つ情報として組合からは感謝いただいている。なお、温暖化や東京湾の水質の変化などが海苔不作の遠因となっており、海の管理の在り方も徐々に見直していく必要があると考えている。
- ・日本製鉄では、これまでも海域環境の改善に関する研究に取り組んできたが、これからも継続して取り組んでいきたいとのことであった。



【ニコニコ BOX】

渡邊会長：栗坂さん本日の卓話の準備いただきありがとうございました

小杉さん吉村さん、本日の卓話ありがとうございました

宮崎幹事：本日は誕生祝を頂きありがとうございました。いよいよ40歳になりました

小杉様、吉村様卓話頂きありがとうございました

和田会員：小杉様、吉村様ようこそ富津シティへ

本日は卓話頂きありがとうございます。

立石会員：お疲れ様です。いつも大変お世話になっております。

本日は卓話に来て頂きました小杉知佳様 吉村航様 お忙しい中ご来訪ありがとうございました。

今後とも宜しくお願い致します。

江藤会員：小杉様 吉村様本日はありがとうございました。

栗坂会員：本日は例会の貴重な時間を割いて弊社の取り組みご紹介させて頂きありがとうございました。

【出席報告】クラブ管理運営委員会：阿部会員→代理立石会員

区分	会員数	出席	欠席	Make up	出席率
今回(6/2)	12	10	2	0	83.3%
前回(5/26)	12	12	0	0	100%

